

令和4年度 第1回 碧南市介護保険運営協議会会議録

1 日時

令和4年7月28日（木） 午後1時30分～午後3時

2 場所

碧南市役所 2階 談話室2・3

3 出席者

- (1) 委員 三島博、永坂幸子、大田康博、堀尾静、小林正人
下村美幸、沢井智美、齋藤健、藤田敏江、杉浦浩二
榊原由太郎、禰亘田悦子、杉浦信子、磯貝靖子、磯貝厚子
鈴木礼子 (計16名)
- (2) 事務局職員 健康推進部長 山田昌宏、高齢介護課長 鈴木美奈子
高齢介護課課長補佐 伊藤博之
高齢介護課介護保険係長 石川基
健康課成人保健係長 石川麻子
高齢介護課地域支援係担当係長 杉浦あゆみ
高齢介護課介護保険係担当係長 岡本東子
高齢介護課主事 伊東 寛貴 (計8名)

4 傍聴者

0人

5 議題

- (1) 令和3年度介護保険事業の決算状況について（資料1）
- ア 介護保険給付の状況
- イ 地域支援事業の状況
- (ア) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況
- (イ) 地域包括支援センター事業の実施状況
- (ウ) 包括的支援事業（社会保障充実分）の実施状況
- (エ) 任意事業の実施状況
- ウ 地域密着型サービスの状況
- (2) 令和3年度高齢者福祉事業の決算状況について（資料2）

- (3) 介護保険事業計画の進捗状況について（資料3）
- (4) 健康とくらしの調査実施（案）について（資料4）
- (5) 地域密着型サービスの推進について（資料なし）

6 議事録

【事務局】

開会の挨拶

【会長】

挨拶

【事務局】

議題(1)の説明

【A委員】

それぞれの事業について詳細な説明がなされているが、大まかな傾向などが示されると分かりやすくなり良いと思います。また、碧南市の特色なども示されると更に良くなるでしょう。

【事務局】

次回以降の資料作成において、検討させていただきます。

【A委員】

資料1の2ページ、(6)要介護認定者の死亡者数について480名とありますが、各認定区分の死亡者数を把握していますか。

【事務局】

現時点での集計は、要介護認定者全体で行っており、各認定区分では行っていません。

【B委員】

恐らく、介護度が高くなるにつれて死亡者数も増えるかと推測されますが、資料に認定区分毎の死亡者数を反映させてもらえると良いと思います。

【事務局】

次回以降の資料作成において、参考とさせていただきます。

【B委員】

資料1の1ページ2(1)要介護度別認定者数の令和4年3月末時点2,971名のうち、480名が亡くなっているということですか。

【事務局】

令和3年度中に亡くなった480名は含まれていません。

令和4年3月末の認定者数は、令和3年3月末の認定者数2,864名に、令和3年度中に新たに介護認定を受けられた方を加え、令和3年度中に亡くなられた方を除いて算出しています。

【事務局】

議題(2)の説明

※質疑なし

【事務局】

議題(3)の説明

【A委員】

進捗管理の中で県へ報告を行っているとのことですが、県からのフィードバックはありますか。

【事務局】

県からのフィードバックはありません。

【A委員】

進捗管理を毎年行っていますが、昨年度報告時と取り組みが変わっているのは、具体的にどういうところですか。

【事務局】

今年度からは県内の他市町村の取組事例を参考に、介護給付費通知を発送する際に、通知内容を説明する文書を同封することとしました。これに伴い、通知書に対する理解も深まった様子で、電話等の問い合わせの数も減りました。

また、住宅改修実態調査では、これまでの市補助金の対象となる工事に加え、新規受領委任払登録事業者が工事を行う際も現地確認を行うこととしました。現地確認時は、工事内容の確認に加え、住宅改修事業の説明等を行い、給付の適正化を図っています。

【B委員】

筋トレルーム60事業は碧南市の特徴的な事業であります。コロナ渦においても、目標値を達成していますが、事業の実施にあたり、具体的に配慮して取り組んでいることがありますか。

【事務局】

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事前予約制、利用者の完全入替制を始めました。令和2年度は利用者も大きく減少しましたが、令和3年度以降、徐々に利用者数も戻ってきています。

【事務局】

議題(4)の説明

【B委員】

議題(3)で取り上げた筋トレルーム60事業などの碧南市の特徴的な事業を保険者独自項目として設定するのも良いと思います。

【事務局】

議題(5)の説明（以下、説明内容）

地域密着型サービスの推進として、第8期のほっとプランに夜間対応型訪問介護、認知症対応型通所介護・介護予防認知症型通所介護に関してニーズの動向を踏まえ必要性について検討していくこととしています。

現在、認知症対応型通所介護・介護予防認知症型通所介護に関しては市内に事業所はないが、事業所から問い合わせもあり、必要なサービスとして考えているため、今後、この2つのサービスについて事業所より新規で話があった場合、介護サービス運営協議会に諮っていくということで進めてよろしいでしょうか。

※質疑・異議なし

【事務局】

それでは、ご承認いただいたということ進めてよろしいでしょうか。

【会長】

特に意見もないため、今後、新規で話があった場合、介護サービス運営協議会に諮っていくことを承認します。

議題終了

【事務局】

挨拶

終了